

## プロジェクトリーダー：瀬戸市役所学校教育課

### 事業実績調書

|   |   |
|---|---|
| (1) プロジェクト名   | 子どもの個性を輝かせる支援体制プロジェクト   |
| (2) プロジェクトの成果（※そのような成果が得られたかについて具体的に記載）                         | <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策で、小中一貫教育として中学校ブロックの職員が集まって行う「中学校ブロック巡回相談・支援指導検討会」は、1学期は全く行うことができなかった。2学期以降も大人数が集まることができなかったため、他校が集まることなく、形をかえて行うことになってしまった。また、実施する学校数も減らす形となった。大学教員は、少ない学校数ではあったが、最新の現場の様子を知ることはできた。</p> <p>にじの丘学園開校をはじめとする瀬戸市における小中一貫教育を本格実施するにあたり、中学校ブロックで9年間の子どものたちの発達段階を小中学校教員がしっかりととらえることを目標に計画したが、今回のプロジェクトでは成果を出すことができなかった。</p> <p>講習会は、人と人との距離を保つなど、感染症対策を行った上で開催できた。発達特性を持った子どもの理解と支援の在り方について、教職員が学び、新たな視点をもって指導の質を上げることができた。</p>  |
| (3) プロジェクト実施内容（※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載） | <p><b>【講演会】</b> 8月5日（水）<br/>「発達特性を持った子どもの理解と支援の在り方」<br/>（金城学院大学 川瀬正裕先生）<br/>文化センター31会議室にて<br/>参加人数 58名<br/>アンケート実施 集計</p> <p>「発達障害の症例から特別支援のあり方、家庭から社会、個人と集団など根本的な考え方、問題など特別支援教育にかかわる者だけでなく子どもと関わる者にとって、とても勉強になる内容でした」<br/>「豊富な経験からのお話は、自分の教育活動を振り返った時に、あの時、ああしていればよかったのかもしれないと思うことがたくさんありました。今回、今の立場で活かせることをたくさん教えていただくことができたので、自分で生かすことはもちろん、周りの先生へも広げていければと思います。」<br/>他、同意見多数。好評を得た。</p> <p><b>【中学校ブロック巡回相談・支援指導検討会】</b><br/>新型コロナウイルス感染症対策として、中学校ブロックの他校職員の参加なし。</p> <p>幡山西小学校（常葉大学 松瀬留美子先生）10月9日（金）<br/>幡山西小・出身幼稚園職員 計6名参加<br/>掛川小学校（名古屋経営短期大学 木村拓磨先生）10月23日（金）<br/>掛川小職員 計6名参加<br/>報告書より</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・特別な支援が必要な児童への指導方法や対応の仕方について、参加した職員全員で情報共有をすることで有意義な時間となった。</li><li>・抽象的な思考が難しい子どもたちには手本を提示するなどの視覚支援が必要なことを指摘され、改めて今までの指導方法を見直し、工夫することが大切だと感じた。</li><li>・日頃の指導の困り感に対して、大学の先生にアドバイスをいただくことができた。今後も続けてほしい。</li></ul> |

#### (4) プロジェクトの今後の課題と展望

・新型コロナウイルス感染症の影響で、大人数が集まることができない中、本企画を進めていくことが難しかった。来年度以降についても見通しが立たないが、ICTを活用するなど工夫して、進めていけるようにしたい。